

お知らせ
戸別配布

年頭雑感

自治会長 永田 清

新年明けましておめでとうござい
ます。年頭にあたり一言雑感を述べ
させて頂きます。

昨年は、東北大地震災関連もあり、
人の絆の大切さが、全国津々浦々ま
で、声を大にして叫ばれました。思
うに戦後60年の間に日本人が失つて

きた物の中でも、大きなもの
の一つでしょう。そういう
意味でもその大切さが広がり
強まることとなれば、大変
すばらしいことです。ただ
日本人の習性として、キャ
ッチフレーズを作り、パツ
と流行る割には、すぐ忘れ
去られるというのがあり、
そうならないで、長く続き
住民の絆が本物となってい
く事を祈るのみです。

近年の新聞やテレビなど
で報道された、信じられな
い様な事件が起こっております。そ
れが特殊な一つや二つの出来事では
なく、これでもか、これでもかと起
こることに、将来の日本は本当に大
丈夫かなと感ぜざるを得ないことも
事実です。
日本の伝統的な文化であった「人

に迷惑をかけない」というものがあつ
たと思います。しかしそれが近年、す
ごいスピードで失われつつある事を、
青少年の生活実態から感じられるのは
私だけでしょうか。人は社会の中で一
人では生きていくことはできない。こ
れは自明の理です。このことから多く
の価値の基準となる、人と人の絆の大
切な部分が発生しているのです。

謹賀新年

旧年中は何かとお世話になり
ありがとうございました。
本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

南ヶ丘2区公民館
執行部一同



今年も『絆』というものが大切に
され続け、人々
の心に受け継が
れ実行される地
域となることを
祈り続けたいと
思います。



12月度組長会報告

「どんど焼」へ向けて

準備本番

12月度組長会は、「どんど焼」準
備確認のために特別に開催しまし
た。各組長の役割分担が本決まりと
なり成功に向けて後は行動のみで
す。当日は多くの皆さんの参加をお
待ちします。

12月20日に、公
民館主事の藤原
和子副会長が逝
去されました。
そのため、平成
23年度末（平成
24年3月31日）
までは岸山信雄
書記が兼務する
ことを組長会に
て承認いただき
ました。

新成人

おめでとうございします。

2区では本年
度28名の方が新
成人となりまし
た。新しく大人
の仲間入りして



頂いた方々に区か
ら「クオカード」
を贈らせていただ
きました。新成
人の方々のこれか
らの活躍に期待したいと思ひます。
皆様もあたたかい目で見守ってくだ
さい。



資源回収にご協力を

当日は、玄関先の分か
りやすいところに、9時
までに出して下さい。

午前中に回収に伺います。

次回1月は次の様になります。

1月24日(火) 4・5丁目

1月25日(水) 3丁目

7丁目(1〜7・19〜21番地)

6丁目

1月26日(木) 7丁目(8〜18番地)

1月 行事予定

10日(火) 地域代表者会議

12日(木) ケア会議

14日(土) どんど焼

17日(火) 評議員会

19日(木) ミニデイ

22日(日) ペタンク大会(南コミ)

26日(木) ひまわり会

毎週月曜 執行部会



ミニデイ みんなで”家庭のヒヤリハット”



11月15日のミニデイで家庭内に潜むさまざまな危険について、皆さんの体験を交えて話し合いました。消費者庁発行の「リスクの学習帖」をテキストにして、地区別に5〜6人の5グループに分かれ、グループ毎にワーキング形式で活発に意見交換を行い、時間が足りないほどでした。他の人のいろんな意見が聞けたこと、思いもしない所にも危険があること、共同作業ができたこと、生活を見直す良いきっかけになった等々の感想がありました。



日毎に寒さが厳しくなります。特に火の取り扱いに充分注意しましょう。



もちつき大会を開催

新年を迎えるにあたり例年行われている「親子大会」を12月23日に開催しました。子ども用の杵も用意してあり近年ではなかなか味わうことのできないもちつきを体験してもらうことができました。当日は黄粉もち・あべかわもち・ぜんざい等を作って頂き、一足早くおもちを味わうことができました。



また、東日本大震災で被災した地域への励ましの形として「寄せ書き」を子ども達が作成し、お餅と合わせて、釜石東中学校へ送りました。



お一人暮らしの家庭を訪問
12月中旬から月末にかけて民生委員と福祉推進委員がいっしょに2区のご高齢で一人暮らしの全戸を訪問し、状況確認を兼ね年末のご挨拶と新年のご多幸を申し上げます。今年から全戸訪問を初めて実施し、この企画に皆様大変喜んでいただきました。ご協力頂いた民生委員、福祉推進委員の皆様ご苦労様でした。

2区シニアクラブより

◎年頭のごあいさつ

改めまして、新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、地域の皆さま方の温かいご支援ご協力をいただいたお陰で、些かなりとも前進することができ、感謝申し上げます。

昨年は、3・11の東日本大震災で、未曾有の痛ましい被害が発生し、国を挙げての復旧が急がれております。その震災後、災害エリアの地域、職域、施設等呼びかけ合い助け合っ適切な対応がとられたことで、人的被害の拡大を防止できた教訓となる事例が『きずな』という語句を用いながら多々報じられています。高齢化が進む地域には、特に醸成しておくべき大事なことと信じます。

私たちのクラブでは、高齢者の医療費増大対策を狙った全老連主唱の「元気で長生き」を目標にしましたが、「強い絆」を前面にたてるべしとの思いから、前月この欄で紹介した『一人より二人一人より大勢で』のキャッチフレーズを設けた次第です。

その処方箋は？クラブの垣根を低くして、同好会活動や月例会に体験をかねて気軽にご参加いただくなど、皆さんとの交流を強め、共々、助け合いながら日々を送ることだと意識しています。少しくどくなりまして。

本年もどうぞよろしくお願ひ
します。

会長 池田義治

